

## 「児童館の今後のあり方基本方針(素案)」パブリックコメントにおける市の考え方について

### 【実施概要】

1 実施期間 令和6年10月8日(火)から令和6年11月6日(木)まで

2 提出者数 36人

(同時実施の「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針(素案)」パブリックコメントにて児童館について意見した5人を含む)

寄せられた意見は、個人が特定される表現を除き、原文のとおり掲載しています。

No.	意見	市の考え方
1	<p>・市の職員が在駐して、利用者とのコミュニケーションを図ることが児童館の役割の一つと考えます。</p> <p>・ハード面(施設環境、清潔な遊具など)も丁寧にみて整えて欲しいです。</p> <p>・東寺方と愛宕との合併は難しいと考えます</p> <p>愛宕の野外施設的な構想は支持できますが、東寺方がその代わりに閉まる事は、別の問題であり、地域に根差した昔より利用されてきた利便のよい子供のための居場所をうびいかねない計画だと受け止めています。</p> <p>・更に地域利用者との話し合いは必要であり、早急に判断しない計画を是非願います。</p>	<p>今回の基本方針では、今の児童館が、地域のすべての子どもにとって魅力ある場所になっているのか、行きたい場所になっているのかを振り返り、その上で、子どもの健全育成の観点からより多くの体験や学習の機会を提供できるという、児童館のあるべき姿を実現していくことを考えて、まとめました。人財や費用が限られた中ではあるものの、従前の運営を踏襲するだけでは子どもに行きたいと思われる児童館にはならないと考え、老朽化による施設更新を見直しの機会と捉えて、素案のような方針を、利用者の声や現場の児童館で働く職員を含めての総意として提案しています。</p> <p>また、需要の変化に対応した子どもの居場所として、学校内での放課後子ども教室を週5日実施していくことなども、同時に検討を進めています。</p> <p>今後、東寺方地区複合施設内に、子どもが利用したくなるような居場所をどのように作っていくか等、今後の意見交換を含め、地域の利用者、保護者の方の話を聞きながら進めていく考えです。</p>
2	<p>私は、2005年に多摩市に住むようになりました、息子が1歳の時から児童館に大変お世話になりました。桜ヶ丘と東寺方の児童館どちらにも赤ちゃんひろばや幼児の集い、イベント等もたくさんあったのでよく参加させていただきました。特に引っ越しってきてしばらくは、知り合いもおらず不安も多い時期だったので、児童館職員の方や、保護者の方々に色々教えてもらったり、お話しできることは私の心の支えもありました。</p> <p>時代が変わり、児童館のあり方も変わらざるを得ないことは存じていますが、子どもと一緒に歩いて、または自転車で通える範囲に児童館はあってほしいと願います。今の段階では、愛宕にアウトドア特化館をと考えていらっしゃるようですが、東寺方にも乳幼児と保護者が出入り自由な場を残してほしいです。</p> <p>家庭では出来ない、人とつながりを感じ、みんなが一緒に楽しめる場は、これからも大切だと考えています。</p> <p>★中高生専門館には賛成します。</p> <p>中学校一年生の娘が、体育祭のダンスの練習をする場がないと言っていました。大勢が集まってダンスの練習をする場がないと言っていました。大勢が集まって少しごくらにぎやかでも注意されることのない広場が必要ではないかと思います。</p>	<p>子育てに不安な時期や暮らしの中で会話や相談をしたいと思う時に、寄り添える児童館として心の支えであったと評価をいただき、ありがとうございます。</p> <p>児童館は時代の変化に対応し、利用者の受け入れ年齢幅やサービスの充実によって開設当初には無かった様々なところまで手を伸ばしてきました。その一方で、規模を縮小したことや、できなくなつたこともあります。市内には多くの子育てに関する施設、団体があり、もっと身近に感じてもらうような変化を加えていくことで、これまで以上に頼れる場所を増やしていくと考えています。児童館も引き続き、子どもたちに寄り添いながら、より多くの地域の施設等とつながることで、児童館でしかできない子どもの育成にむけてさらに力を注いでいけるようにしていきたいと考えています。</p> <p>例えば、中高生には社会に出ていく前の大事な時期に、この年代だから興味関心のあることができるような機能を持たせ、社会につなげていくような支援ができる職員のいる児童館を置くことで、中高生までを育成、支援する児童館としての役割を果たしていきたいと考えています。</p>
3	<p>・コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針(素案)への意見</p> <p>1.多摩市の東寺方複合施設の見直し方針(多摩市方針の確認内容)</p> <p>(1)老人福祉館及び地区市民ホールは、廃止し、コミュニティ会館とする</p> <p>(2)児童館は、愛宕児童館に統合され、東寺方児童館は移動型児童館となる。</p> <p>(3)図書館については、一切説明なし。「残る」とのみの説明あり。</p> <p>2.東寺方複合施設利用者である地域住民の基本的考え方</p> <p>(1)第一に、多摩市全体の人口推移や行政動向の見通しをベースに、見直し方針が纏められているが、東寺方複合施設利用者の地域特性を考慮した見直しが必要である。</p> <p>多摩市人口の実態は、①多摩市全体は令和2年が総人口のピーク、②東寺方複合施設利用者の周辺地域は現在がピーク(今も新築住宅増加中)、③多摩市(の②)以外地域計は平成29年がピーク、となっている。&lt;別紙「多摩市人口と東寺方複合施設利用者地域人口の地域特性・比較対照表」参照&gt;(別紙①、②含む)</p> <p>⇒この実態を見ると、多摩市全体の人口推移等の傾向をもって、一律に全地域に当てはめる見直し施策は、森を見て木を見ない施策と言え、本当にその地域特性を踏まえた事にならず「地域に密着した新たな街の魅力や地域の価値の創造」を目指す「協創」の考え方に対する考え方。</p> <p>(2)コロナ前に地域住民を集めた意見交換の場が4回実施されたが、基本的にには積み上げた内容を基にした見直し案であるべきだ。その前提を踏まえて今年6/28(金)に再開後の第1回打合せがあり、引き続き多摩市の市民意見交換会(7/20・7/27の2回開催)が開催された。それを受けて東寺方複合施設に関する打合せとして、再開後数回の多摩市行政管理課等との打合せが行われた。その内容は、地域住民個々の意見と質問に対する市側の回答形式となり、協力して建設的な見直し案に繋がる話し合いとはなっていない、と考えている。</p> <p>(3)今後は、意見を聞くべき地域住民のうち、必ず意見を聞いて貰いたい方は、以下の通り。</p> <p>10月12日(土)13時からの地域住民との打合せも前記(2)と同じような状況と言え、11月14日に基本方針の決定をする、との多摩市の方針は拙速すぎると考える。</p> <p>今後とも、下記関係者を中心とした地域住民の声をシッカリ聴いて一緒にこの地域の特性を活かした地域コミュニティの大切な拠点としての機能、役割を担える場所としての整備が必要である。今後、更に関係する下記の地域団体・住民の切実な声を見逃すことなく取り入れた見直し案にしていくことを切に望みます。</p> <p>a.老人福祉館・地区市民ホール…利用者団体、存続の会、自治会、若竹会など</p> <p>b.学校関係者、児童及び保護者など</p> <p>c.図書館 利用者、存続の会など</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。東寺方複合施設に関する地域の皆様との意見交換については、コロナ禍があったとはいえ、長らく中断してしまったことについては大変申し訳なく思っております。本年10月に対話を再開したところですが、より良い施設としていくため、皆様と意見交換をしながら検討したいと考えています。</p> <p>東寺方児童館のある地域である桜ヶ丘四丁目、和田、東寺方(一丁目を除く)の年少人口(18歳未満の人口)は、平成30年4月1日に2,343人でしたが、令和6年4月1日では2,064人と、わずか7年の間で、279人も減少しているのが事実です。一部の地域での限定的な人口増加は見られるものの、市内全体では少子化が進行しています。このような中にあって、児童館の今後のあり方基本方針(素案)においては、多摩市の中で他地域からも遊びに行きたいと思ってもらえる児童センターを創ることで、周辺地域はもちろん、市全域への子育て支援の力を、更に充実して行きたい考えです。設置場所については、子どもにとって自由に遊べる育成環境が実現できる立地であるかで判断しました。住宅の多い地域でアクセスが良いという利点があつても、このような育成環境が実現しない立地では難しいと考えた上での提案となっています。</p> <p>なお、移動児童館だけでなく、今後の東寺方複合施設内に子どもが利用したくなるような居場所をどのようにつくっていくか等、これからのお意見交換を含め、地域の利用者、保護者の方の話を聞きながら、子どもが利用しやすい施設づくりを進めていきたいと考えています。</p> <p>コミュニティ施設に関しては、本パブリックコメントと同時期に行いました「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針(素案)」パブリックコメントの回答内にてお答えします。</p>

No.	意見	市の考え方
	<p>3. 東寺方複合施設のハード面及びソフト面の考え方の一体的な見直し      東寺方・落川を中心としたこの地域は、聖蹟桜ヶ丘駅、多摩センター駅、永山駅の多摩市内3駅を別にすると、多摩市内の中でも地域コミュニティの基盤が整っている地域である。地域住民は、商業施設、総合体育館、保育園、自治会館(集会所)、消防団詰め所(第6分団)などの生活基盤となる重要施設が整い、うまく連携して繋がりを持つ、モデル的な地域と考えている。      また、もう1つ重要な生活導線を考えると、この地域全体を通して言えることは、地域住民は誰もが聖蹟桜ヶ丘駅方面へ向かう動きが基本となっている。和田のカルガモ館や愛宕方面への行動は必要がある場合に限られており、幼児がないとほとんど向かわないので現状である。      従って、以下のような今考えられている東寺方複合施設の統見直しに関しては、上記の現状を無視しては考えられない。      (1)大規模改修(耐震化、停電時のエレベーター、等問題のクリア)      (2)建て直し(新築):何階建てにするかにより複合施設の内容(機能)が変わる      (3)他の施設との統合方式の建て直し⇒下記の諸施設の連携・統合を検討!      複合施設、自治会館、第六分団(詰所)、西武地域包括支援センター等の統合施設</p> <p>4. 東寺方複合施設の機能に盛り込んでほしい機能、運営体制、等について      (1)高齢者の利用が中心の「老人福祉館と市民ホール」を廃止し、多世代共生型の「コミュニティ会館」をつくると言うが、ハード面・ソフト面の中身が出ていない現在、具体的なイメージが見えてこない。      ⇒具体的な内容は、これから地域住民の声を聞きながら纏めて行く、ということか?      コミュニティ会館のあり方・機能がこれまでの老人福祉館等の機能を持つという事か?      (2)子供の利用する児童館を廃止し、「移動児童館」にすると言うが、前記した2-①の別紙、人口推移表をみると、統合する愛宕児童館が人口減少しているのに比較し、東寺方複合施設利用地域の人口は現在も増加している状況にあり、実態から言えば常設児童館と移動児童館が逆ではないかと、と思うが如何ですか?      ⇒愛宕児童館を「アウトドア特化館」と位置付けており、考え方は立派だが人が集まらないと意味がない。人口も増加傾向にあり、今後も増える見込みの東寺方地域を常設にして、愛宕を移動児童館とする方が正當な考え方ではないか?      (3)図書館については一切説明がないが、統廃合・見直しは無く、現状の機能・体制が維持されるという理解で良いのか?      (4)見直し後のコミュニティ会館(?)の運営に関する主な要望(必須事項)  <b>【重要】</b>      ①現行の職員常駐体制の確保、そして地域拠点としてコンシェルジュ機能の維持      あくまでも地域の拠点の役割を維持する必要があり、全世代共生型コミュニティを目指す考えは理解するが、現在の地域の高齢者等が、気軽に話出来、様々な相談に乗り、まさしく市の方針にある地域協創の実現を目指して行政サービス向上につなげることになると考える。また、コミュニティ会館(名称変更?)となった後の図書館機能及び児童館機能についても、同様の対応ができる職員の配置は必須である。特に高齢者に加え、未就学児や小学生等の子ども居場所の確保は何よりも重要である。現状は、配置された職員が積極的に、前向きに対応いただいているが、今の質を落とさない職員配置が必須である。      また今後は、コンシェルジュ機能の維持を図り、十分に能力発揮しうる人材の育成が重要と考える。      ②東寺方コミュニティ会館の大改修、建替え等の整備方針に係る要望      東寺方複合館は、昭和56年建設で43年経過しており、いろいろ不具合は出てきているが、出入り業者の話し聞くと、まだ手入れや修復を行えばしばらくは機能維持しながら十分使用可能だ、というように聞いている。空調設備や停電時のエレベーターの機能維持(蓄電池等で3日くらい稼働可能)などの対応をしながら、見直し検討時間を確保して十分な検討をすべきと考える。そして当該地域の拠点となるコミュニティ会館(仮称?)の運営体制をできれば少しでも多く時間を掛けより良い形態を模索し、そのための費用(予算)や運営体制を考えるのが望ましい。      また、東寺方複合館を建替えを検討する場合には、東寺方複合館(老人福祉館・市民ホール、図書館、児童館)は、周辺に東寺方自治会館、多摩市消防団第六分団(詰所)があり、連携が必要で日頃より交流が頻繁にある西部地域包括支援センターも近隣にある。また、先日の台風10号の際にも心配された西部地域包括支援センターの所在地は、浸水深1m以上3m未満の想定地域にある。できれば、西部地域包括支援センターも含め、地域の安全安心のため連携・協力が必要な関係機関を近くに集めた方がベターであり、地域の安全安心のための体制強化につながると考える。これこそ地域協創に繋がるものである。</p>	

No.	意見	市の考え方
	<p>③福祉的避難所の位置づけに沿ったコミュニティ会館としての要望      今、東寺方複合館は福祉的避難所の位置づけにある。高齢者中心ではあるが、お風呂、シャワー設備等を持ち、大勢の方が毎日利用している。そして、万一の災害時の福祉要件を満たした方の避難所であり、その際には、安全で、清潔な環境を維持することが重要で、お風呂とシャワー、特にシャワーはぜひとも必要である。そのためには、要介護状態の方にとって排便・排尿等の重要性を理解し、清潔な環境の整備と支援可能な専門的ノウハウを所有する方の手配が可能な体制を整える必要がある。現在、防災安全課にて福祉的避難所の備蓄品の検討を老人福祉館とともに進めているが、地域の安心安心のための基盤整備として早急に対応いただきたい。      前記したコンシェルジュ機能、及び福祉的避難所としての機能は是非とも整備してもらいたい。地域の基盤拠点としては必須のものと考える。      以上</p>	
4	<p>子どもでも歩いて行ける場所      異年齢の子ども集団      異年齢大人の存在      は大切にしたいことです。      一館ごとの体制をのぞみます        近りんの子育て世代の親は関心があり      どうなるのかと不安に思っています</p>	<p>児童館の役割をご理解いただき、ありがとうございます。      素案を決定するまでの間、方針の内容をゼロベースから議論してきました。その過程では、現在ある10館の全児童館を存続させていくことや、通いやすい場所に児童館の無い地域へも設置していく案も検討しました。しかし年少人口が減少し、児童館全体の利用者数もこれまでの人数を維持していくことが見込まれない中、限られた人的・物的資源を活かしながら、児童館が地域に存在しているというだけでなく、行きたいと魅力のある運営をしていくためには、素案にあるような児童館に再構築していくことが必要だという考えに至りました。      児童館の場所が離れてしまっても、更新する施設の中に子どもの居場所を確保したり、小学校内での放課後子ども教室を充実させたりするなど、異年齢の子どもが集い、親や教師とは異なる大人と接することのできる居場所を、子どもが歩いて行ける範囲に作っていきたいと考えています。</p>
5	<p>東寺方の複合施設内にある児童館が、愛宕地区へ移動する件に関して、東寺方地区では、自治会等を中心に、通学時の交通整理や、防犯パトロールなどの地域で子供たちを見守る      ソフトの面の仕組みがあります。建物だけ移動するだけの視野だけでなく、東寺方地域にあるソフトの人間関係      地域力を考慮して移動を進めてください。</p>	<p>東寺方児童館においては、これまで自治会や青少協など地域の様々な方や団体と連携し、ご協力をいただきながら運営を行ってきました。      新たな児童センターにおいても、東寺方児童館で培った地域との関係性を継続しながら児童館運営を行っていきたいと考えています。      また、更新する施設の中での子どもたちの見守りや放課後子ども教室の運営にも、引き続き地域の皆様のご協力をいただきたいと考えています。</p>
6	<p>一ノ宮児童館にお世話になりながら子育てしてきた者です。        東寺方児童館が無くなることに、心から多摩市の子育て環境への不安を感じます。        乳幼児期、大人と話せる日が全然無い！なんて日が続く事がよくありました。子供はかわいいですが、やはりずっと子供だけ相手をしていると煮詰まってイライラしたり悲しくなったり、メンタル面がとても不健康になったものです。        そんな時に、赤ちゃんをベビーカーや抱っこ紐で抱えて、サッと通える距離に児童館があったので、子供を遊ばせながら職員さんに話を聞いてもらえる時間が本当に救いでました。        児童館は立派で施設が素晴らしい所も魅力だと思いますが、やはり1番大切なのは「行きたい時にすぐに行けること」だと思います。      そして、話を聞いてくれる人が居ることだと思います。        乳幼児のお母さん、1人でバス乗車は難しい小学生。車移動を念頭において場所を考えないでください。徒歩で行ける場所=すぐに行ける居場所、だと思います。      『移動の手段を考えず、サッと通える場所に児童館がある』      それこそが、用意された居場所を利用したくなる原動力ではないでしょうか？心が辛くて1人じゃ頑張れないって思う日でも、児童館に行こうと思える原動力ではないでしょうか？子供が遊びに行こうと思える距離に居場所がなければ、『めんどくさい』が先立ってしまい、行かなくなってしまいませんか？        東寺方児童館が徒歩圏内の方々が、愛宕児童館まで、低学年の小学生がサッといけますか？赤ちゃんを抱っこしたり、ベビーカーに乗せたお母さんがいけますか？雨の日が続く季節はどうですか？自転車でも行けません。</p>	<p>子育てが大変な時期に児童館が頼れる場であったとの評価をいただき、ありがとうございます。      「行きたいときにすぐに行ける場所」そして「安心できる、人間同士の関わり合いを絶えさせない場所。独りにさせない場所」を今後も地域に確保していくために、乳幼児親子の居場所を保育施設でも担うとともに、小学校内での放課後子ども教室を充実させていく考えです。</p>
7	<p>愛宕児童館をアウトドアに特化した児童館にすることは概ね賛成です。ただ、低学年の子供も親と一緒に歩いて楽しめるように、駐車場を整備してほしいと思います。小1小2は子供だけでの自転車移動を小学校から禁止されています。      是非、世田谷のプレーパークに視察に行ってください。区内にいくつかあるのですが、羽根木公園内にあるプレーパークが特に素晴らしい施設です。NPO法人のせたがやプレーパークが運営しています。      冬には焚火をしたり、大きな滑り台(登る階段が無いのでよじ登って滑ります)があったり、木登りをしたり、大工道具があつたり…。時には怪我をしないか親が少し心配になるような場所ですが、子供たちは適応し順応し、泥だらけになって生き生きと遊んでいます。      多摩にも是非そんな場所を作つてほしいです。        東寺方児童館は閉鎖してもいいと思いますが、地域の全員が利用できるような施設にしてほしいです。かるがも館のように、学生が勉強できるスペースがあればいいなと思います。図書館も古いので、綺麗になると嬉しいです。</p>	<p>アウトドア特化館の趣旨をご理解いただき、ありがとうございます。      いただいた具体的なご提案は、愛宕児童館を改修する児童センターの施設内容を検討していく中で参考にさせていただき、魅力的な児童センターの実現を目指したいと考えています。        東寺方複合施設についても、子ども若者も含めあらゆる世代の方が利用できるような施設づくりを検討していきたいと考えています。</p>

No.	意見	市の考え方
8	<p>(総合計画など上位計画との関連性の説明追加)</p> <p>・「児童館の今後のあり方基本方針(素案)」(以下、基本方針)には児童館の今後のあり方を示す根拠が、冒頭の「平成15年「児童館・学童クラブ運営検討委員会」決定」であるかのように表現されている。児童館は子ども・子育て支援あるいは広義の教育施設であると同時に公共施設でもあり、またコミュニティエリア内のさまざまな市民を支えるサービス拠点である。こうした観点から、児童館は国のどんな施策を具体化するために存在するのか、とか、基礎自治体として、特に多摩市第六次総合計画の施策をどのように具体化するために、児童館の今後のあり方を示す必要があるかななど、上位計画との関連性や、それをどう具体化するための基本方針なのかを、きちんと整理して記載し、利用者の理解を促進すべきである。</p> <p>・この際、例えば総合計画の「政策A:子どもの成長をみんなで支え、ともに生きるまちの実現」策3 子育て・子育ちを育む地域づくり、あるいは関連施策も「多摩市 子ども・子育て支援事業計画」だけを念頭に置くのではなく、児童館の立地条件に応じ、例えば多世代共生とか、社会教育、図書館サービスなど、他の公共サービスとの連携を視野に入れていることを明記すべきである。</p> <p>・多摩市 子ども・子育て支援事業は、児童館だけで実現できるものではなく、ライフステージに応じ、他の施策と相まって推進する視点を明記してほしい。</p> <p>(コミュニティエリアの概念に基づく説明)</p> <p>・国(現在はこども家庭庁)の指針で「市町村は、「量の見込み」「確保方策」を設定する単位として、地域の実情に応じて保護者や子どもが居宅より容易に異動することが可能な区域(「教育・保育提供区域」)を設定することとなっている。</p> <p>・こうした観点から多摩市の場合、教育・保育提供区域の考え方方は、今回示された基本方針2-2児童館の現状、3-6、5年以内に目指す姿、において、「中学校区で見る児童館の配置」との説明図に基づく記述になっている。しかしながら多摩市第5次総合計画を踏まえた、第六次総合計画の趣旨に照らせば、コミュニティエリアごとの配置の適正化を図るべき。多世代共生はコミュニティ施設だけの問題ではないので、市の施策として統一感と一貫性のある説明が求められる。</p> <p>(多摩市が提案する「これからの児童館」(将来像)の類型をもとにしたエリア別のサービスの十分性検証)</p> <p>・基本方針3-5には将来像、3-6には「5年以内に目指す姿」としてロードマップが記載されている。この説明はいかにも近視眼的に、当面の縦縫策を講じているように捉えかねない。</p> <p>・ロードマップを描く場合は、最終形(将来像)をもとに、各エリア共通に提供されるべきサービスメニューと、類型別の児童館の配置を明らかにし、それに至る中間的な措置として、5年後の姿を描くべきである。これでは住民が、5年後の姿の適切性を判断したり、将来像を共通認識にして、今後の検討に進むことはできない。</p> <p>・また5年後の姿を描く際には、複合施設のあり方とワンセットでの説明がないと、多世代共生の実現もおぼつかなくなる。協創推進室と児童少年課、あるいは資産活用担当がそれぞれ検討を進めるのではなく(相互規定的であるため、詳細に描くことは困難であるにしても)基本方針として、コミュニティエリア内のコミュニティ施設と組み合わせて多世代共生を実現するか、検討していくことも明記すべきだと考える。市民との対話のなかで、こうした考え方をきちんと理解いたいたうえで、複眼的あるいは相互連関性を持たせながら、エリア内の住民自身が自分事として、多世代共生や子ども・子育ての実現方法を、市と一緒に考えていく枠組みを用意すべきである。</p> <p>・なおコミュニティエリアについては、協創推進室が所管する同時期実施の「コミュニティ施設の今後の方針に関する基本方針(素案)」に関するパブリックコメントで、第六次多摩市総合計画との関係で再度考え方を整理すべき旨指摘しているので、同室に照会して、併せて参照されたい。</p> <p>(コミュニティエリア内の住民動線、生活圏を考慮した児童館のあり方への配慮)</p> <p>・コミュニティエリアではさまざまな多世代共生を支える公共施設があるが、児童館もその重要な担い手の一つである。一つの家族にとって、図書館も老人福祉館も、児童館と同様に生活圏の中で、日常生活のなかで利便性を考慮して利用することはいうまでもない。</p> <p>・こうした観点から、今回の基本方針(素案)は、コミュニティエリアを越えての移動など、住民動線、生活圏を必ずしも考慮した提案になつていい。コミュニティ施設については、コミュニティを前提としての基本計画の提案になつてないので、児童館について、この点をどう考慮したのか、コミュニティ施設を所掌する協創推進室とも十分協議して、基本方針にも盛り込むべきである。</p>	<p>(総合計画など上位計画との関連性の説明追加)</p> <p>基本方針3ページ冒頭に記載の《多摩市立児童館運営の理念》は、児童福祉法に基づく児童厚生施設である児童館を多摩市が運営していくに当たっての普遍的な理念を記しています。</p> <p>基本方針を策定する根拠として、同じ3ページの下方にて多摩市第六次総合計画及び多摩市子ども・子育て・若者プランを掲げ、それらとの関連性を記載しております。</p> <p>他の公共サービスとの連携については、各行政分野の政策推進に、児童館も一定の役割を担っていくべきであると認識しています。児童館事業を具体的に計画・実施していく際には、その視点も欠かさないようにしたいと考えています。</p> <p>(コミュニティエリアの概念に基づく説明)</p> <p>コミュニティエリアの考え方も参考にしながら、多摩市全体の子育て支援施策を検討していくべきと考えています。</p> <p>しかし、これまでの児童館が担ってきた役割のひとつである、地域における子どもの居場所は、放課後子ども教室をはじめとする他のサービス形態と合わせて充実させていくべきと考えております。児童館自体が担う役割は今後、基本方針13ページから14ページにかけて記載した①～④に重点を置いていきます。その中で児童館の配置を考えると、コミュニティエリアとは必ずしも一致しないと考えています。</p> <p>(多摩市が提案する「これからの児童館」(将来像)の類型をもとにしたエリア別のサービスの十分性検証)</p> <p>この基本方針では、多摩市の児童館の現状と課題を踏まえたるべき姿とし、まずは4種類の児童館像を提言しています。(15ページ)</p> <p>これら4種類の児童館の具体的な配置について、今後の人口動態などに合った施設数を見極めていくには、なお年数を要すると考えます。そのため、具体的に対応すべき課題が明らかになっている範囲で、まずは5年以内に目指す姿を提示しているものです。</p> <p>また、各地域での子どもの居場所をはじめとする子育て支援のあり方については、児童館だけでなく、保育所、幼稚園をはじめ放課後子ども教室など他のサービス形態と合わせて総合的に検討すべきと考えます。</p> <p>(コミュニティエリア内の住民動線、生活圏を考慮した児童館のあり方への配慮)</p> <p>これまでの児童館が担ってきた役割のひとつである地域における子どもの居場所は、放課後子ども教室をはじめとする他のサービス形態と合わせて充実させていくべきと考えており、児童館自体が担う役割は、今後は基本方針13ページから14ページにかけて記載した①～④に重点を置いていきます。その中で児童館の配置を考えると、コミュニティエリアとは必ずしも一致しないと考えています。</p>

No.	意見	市の考え方
9	<p>いつも児童館の職員さん、市役所職員さんには大変お世話になっております。 いつもありがとうございます。</p> <p>今回いろいろとお話を聞いておりますが、市の児童館の数を減らさなければならぬと思っていらっしゃる。そして、移動児童館をメインにお考えなのかな?と思います。</p> <p>しかしながら、利用者からすると放課後子ども教室を週5にするからといって施設自体なくしてしまったら学校で嫌な思いをした日に行ける場所がない。となる子どもも出てくると思います。</p> <p>赤ちゃんとママは保育園でとなると、保育園はセキュリティもしっかりしており、入口に入るとこからハーダールが上がります。</p> <p>気軽にふらっと立ち寄れる場所はなくしてはいけないと思います。</p> <p>今と全く同じように運営しなくとも良いと思います。でもとにかく行ける場所は減らしてはならないと思います。</p> <p>職員さんのご苦労はたくさんあると思いますが、その職員さんたちに私は救われた一人です。</p> <p>孤独な子育て、パパが帰るまで子どもとしか話してない。</p> <p>あ、言葉を発しない。と思う人もたくさんあつたし、それを児童館で同じ子育てしているママたちや職員さんと話すことでどれだけ救われたか。</p> <p>そして赤ちゃんの時から通っているから小学校に入って一人で通うようになったとき保護者は安心していらっしゃいと送り出せます。</p> <p>ふらっと行けるがとても重要です。</p> <p>たくさん考えてくださりこのような決断に至ったということはわかっていますが、どうか子育てしているママ、パパたちの切実な想いも汲んでください。</p> <p>国立の矢川スペースのような施設を作ってください。 世代関係なく誰でも通えるそんな施設がとても理想的だと感じます。</p> <p>駅の近くに中高生向けの施設というのもとても良いと思いました。</p> <p>愛宕児童館にアウトドア特化館。素敵な話だとは思いますが、通う時にあの細いけど車通りやバイクや自転車の多いあの道を通ることになると思います。</p> <p>正直心配です。 動線も考えてほしいです。</p> <p>どうかみなさんのご意見を反映させたうえで再考し、みんなが納得する形にしていただけたらと思います。</p>	<p>子育てが大変な時期に児童館が頼れる場であったとの評価をいただき、ありがとうございます。</p> <p>市の児童館の数を減らすことが目的であつたり、移動児童館を主軸にしているという考え方ではありません。</p> <p>「児童館の今後のあり方基本方針素案」にも書かせていただいたように、私たちは施設の見直しの機会を捉えて、ただ残していくだけではなく、これから20年、30年先の変化にも対応できる施設や運営のあり方を考え方針案を作成しました。子どもの人口や来館する子どもが減少する中で、子どもが行きたくなるような魅力の詰まった児童館に再生していくべきではないか、今までと同じいいのか、と考えたところから出発しています。</p> <p>その中で、乳幼児や子育て中の保護者がふらっと行ける場所を、どのように創出していくかの課題についても、ご指摘の内容を踏まえて、保育施設での子育てひろばや小学校内での放課後子ども教室も検討していきたいと考えています。</p> <p>中高生専門館の場所については、今後この方針に沿って計画を進めていく中で、より計画など具体化していく際に再度、ご意見をいただきながら検討していく考えです。</p> <p>アウトドア特化館でもある児童センターの場所として愛宕児童館を選んだのは、子どもにとって自由に遊べる育成環境が実現できる立地であるかで判断しました。住宅の多い地域でアクセスが良いという利点があつても、このような育成環境が実現しない立地では難しいと考えた上での提案となっています。ご指摘の、来館時の安全性については、今の施設動線を現状にとらわれることなく解決できるように、引き続き検討させていただきます。</p>
10	<p>多摩市は子育て世帯が転入てくるように、児童館や公園の遊具やトイレの更新整備をお願いします。市内は坂が多く、居住エリアが広いため、児童館が遠いと行きづらいため、小規模でも良いので多数箇所あると良いです。特に、東寺方児童館の場所が無くなり愛宕エリアに移動するには利用できる児童館が無くなるので困ります。多摩第二小だけなく、東寺方小学校区の子どもも気軽に遊びに行けるように、施設の改修をお願いします。親子が行きたいように、IKEAさんと提携するなど、企業と連携して人が集まる仕掛けをお願いします。</p>	<p>市外からも多摩市に転入したいと思うような魅力ある児童館になるよう、財源も限られた中ですが、計画的な改修を進めていきたいと考えています。</p> <p>この素案を検討する過程では、児童館の施設数を増やす案も上がりましたが、児童人口も減少し、人的・物的資源が限られる中で魅力ある児童館のあり方を検討した結果、素案にあるような児童館配置に再構築していくことが必要だという考えに至りました。</p> <p>児童館の場所が離れていても、地域内の他の施設を子どもの居場所となるようにしたり、小学校内での放課後子ども教室を充実させたりするなど、子どもが気軽に遊びに行ける場所を確保していきたいと考えています。</p> <p>また、ご提案いただいた民間企業との連携も、この方針に基づき魅力ある児童館の運営を考えていく際の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>今後の多摩市について色々考えてくださってありがとうございます。</p> <p>わが家は、3人の子どもがいます。みんな児童館にお世話になり、感謝しています。児童館のスタッフの方と、少し間があいてお会いしても、ちゃんとわが子のことを覚えていてくださって、こんなふうに地域の方々に見守っていました。成長してくるんだなと実感し、感謝の気持ちでいっぱいになります。</p> <p>小さい子どもたちにとって、身近に遊びに行ける児童館は、大切な存在です。</p> <p>うちから1番近いのは東寺方の児童館です。</p> <p>その、身近な児童館がなくなるのは、この地域の子どもたちにとっては、ふらっと行きやすい行き場を無くしてしまうことにもつながりそうだなと思います。</p> <p>児童館という形ではなくてもいいのですが、ぜひ子どもたちの居場所は残しておいてほしいです。放課後子ども教室の整備は、本当にありがたいです。でも、身近に遊びに行ける児童館の存在も大切です。将来を担っていく子どもたちの未来のためにも、子どもたち一人一人にとって身近な居場所をなくさないでいてもらいたいなと思い、コメントさせていただきました。</p> <p>東寺方の子どもの居場所、ぜひ考えてもらえたうれしいです。</p> <p>どうぞよろしくお願ひいたします。</p>	<p>児童館の意義をご理解いただき、ありがとうございます。</p> <p>児童館の場所が離れてしまっても、更新する東寺方の施設にも子どもたちの居場所は作っていく考えです。小学校内での放課後子ども教室を充実するなど、子どもが気軽に遊びに行ける場所を確保していきたいと考えています。</p> <p>児童館 자체も再構築していくますが、行ってみたいと子どもたちに思ってもらえるような魅力ある運営を考えています。</p>
12	<p>東寺方児童館周辺に住んでいると愛宕児童館まで徒歩で行きにくい。</p> <p>健康センターで多摩保育園に育児相談できると案内されるが、実際に東寺方児童館を定期利用してるのは広さや公園を使える点から多摩保育園に遊びに行く方は少ない。</p> <p>また、東寺方児童館は車が停められるから雨の日に選ぶ保護者もいる。</p> <p>私自身、未就学児の母ですが</p> <p>東寺方児童館職員の方は地域のお祭り等にも参加されたり、挨拶があつたり地域に馴染み、非常に必要不可欠な存在である。</p> <p>異動児童館のようなもので、そういう職員は根付かない。</p> <p>東寺方地域はコロナ以降赤ちゃんが生まれるのが少ないようですが、児童館がなくなったりすると、頼れる場所が減りもっと出生率が下がると思います。</p>	<p>児童館の場所が変わっても、更新する東寺方の施設内には、子どもの居場所は作る考えです。こうした施設の中でお祭り参加や交流、関係づくりができるよう運営の中で工夫していきます。</p> <p>また、乳幼児親子や子どものために、児童館からどのように職員が地域に携わっていくべきかという点も併せて考えています。</p> <p>今後、小学校内での放課後子ども教室を充実させるなど、近隣施設との連携を含め、乳幼児親子や子どもが気軽に通える居場所を充実させていくと共に、各施設への通いやすさという点も検討していきます。</p>

No.	意見	市の考え方
13	<p>・小学校の校庭や体育館を利用した放課後子供教室を充実させ、学童クラブの子供もそれ以外の子供も一緒に過ごせるのがほしい。</p> <p>・東寺方複合施設付近は近年多くの子育て世帯が転入しており、子供が増えている。</p> <p>・子育てしやすい多摩市と評価されるようなまちづくりを。</p> <p>・東寺方児童館利用の子供達は愛宕児童館へは遠くて行けない。東寺方と愛宕の統合には無理がある。</p> <p>・愛宕エリアの森は、昔から子供たちが虫捕りをして楽しんでいる。アウトドア施設として整備するより、本来の自然の形のまま残すべき。そちらの方がより思い出に残る。</p> <p>・気候変動によって夏がとても長くなっていて、6月から9月のほとんどは外で過ごすことが危険。室内で過ごせる場所は残すべき。</p> <p>・ここに行けば誰かがいる、誰かに会えるという場所があることが安心につながる。そのため移動児童館のような不確定なもののは要らないのではないか。</p>	<p>放課後子ども教室の充実にご理解いただき、ありがとうございます。</p> <p>東寺方児童館のある地域である桜ヶ丘四丁目、和田、東寺方（一丁目を除く）の年少人口（18歳未満の人口）は、平成30年4月1日に2,343人でしたが、令和6年4月1日では2,064人と、わずか7年の間で、279人も減少しているのが事実です。一部の地域での限定的な人口増加は見られるものの、市内全体では少子化が進行しています。そのような実態を踏まえて、またその中で子育てしやすい多摩市と評価されるためには児童館はどうあるべきか、様々な観点から議論・検討した上での方針であることをご理解いただければと思います。</p> <p>愛宕児童館を改修する児童センターについて、今ある自然を活かすことや、夏季の過ごし方は、今後の児童センターの施設内容を検討していく中で参考にさせていただきます。</p>
14	<p>子供の足で通える距離に配置されているのが良いと思うので、東寺方が愛宕に統合されてしまうのではなくなるのではないかと心配な面があります。自分の子が通っていた小学校も統合により学年途中で遠くなつて一クラスあたりの人数が多くなって、子が不登校になる要因として大きいものがあったと考えています。子供が少なくなっているのにあわせて設備を減らしていくかずに、一人当たりにかける費用が手厚くなるといいなと思います。</p>	<p>アウトドア特化館でもある児童センターの場所として愛宕児童館を選んだのは、子どもにとって自由に遊べる育成環境が実現できる立地であるかで判断しました。住宅の多い地域でアクセスが良いという利点があつても、このような育成環境が実現しない立地では難しいと考えた上での提案となっています。</p> <p>児童館の場所が変わつても、更新する東寺方の施設内には子どもの居場所は作る考えです。小学校内の放課後子ども教室を充実させるなど、子どもが気軽に通える居場所を充実させていきたいと考えています。</p> <p>多摩市でも少子化は進んでいますが、児童館に限らず、様々な地域資源を活用することにより、子どもに対する支援自体は充実させていきたいと考えています。</p>
15	<p>東寺方児童館について主に記載します。</p> <p>多摩市に生まれ育ち、今は3人の母になりました。実家近くに住んでいるため、子供のときと同じような生活環境にいます。子供の頃の東寺方児童館は学童がありたくさんの子供達がいたように思いますが、学童に入っていない私はそのコミュニティに入れず、逆に行きづらかったです。図書館にはよく行っていたので帰りに覗く程度でした。</p> <p>今は行きたい子供達が行きたいときに自由に行ける場となり、行きやすさが増したように思います。ただ、建物の耐震性が非常に不安で、全体的に天井が低いからかお部屋が暗いイメージもあり、我が家をなかなか積極的に行かせてはいない状況です。</p> <p>この建物や内部の配置がリニューアルされ、とても良い環境になれば家からも近く、物騒な社会生活でも安心して子供達を行かせられるなど期待していました。</p> <p>今回の愛宕児童館との統合の話はとても残念に思っています。少子化や市の経済状況から削減していきたいのでしょうか、児童館は子供達が自由に気軽にいつでも行ける場所なはず。</p> <p>この地域から、かるがも館、愛宕児童館、ゆう桜ヶ丘は遠過ぎます。徒歩、自転車、ベビーカーなどの移動、夕暮れが早い時期を考えれば、子供達の時間を公共交通時間で奪ってしまいます。かるがも館に限って言えば、八王子市とのほとんど境で立地がイマイチだなとはいつも思います、とても良い施設であろうに一度も行ったことがありません、遠過ぎて。愛宕とゆう桜ヶ丘は山登りでベビーカー、自転車、徒歩では厳しいです。</p> <p>一時期、都外の親戚や知り合いが全くない場所で、少し発達に心配な2歳児を抱えて生活していた時期がありますが、そのときに気軽にその子を連れて行った場所が近所の児童館でした。もちろん徒歩で行けます。児童館の人にもお話しして良かったですし、子供とも遊んでくれました。</p> <p>移動児童館にするお話を伺いましたが、それでもその時間に合わせて行かなければいけません。子供達はすぐに体調崩してしまうし、それに合わせてしか、職員さんにもお会いできないのでしょうか。</p> <p>放課後こども教室はとても良い取り組みで、我が家もたまに参加しています。拡充することはとても良いですが、あくまでコミュニティは学校の延長。そもそも学校があまり好きではない子には辛いかもしれません。</p> <p>学童の待機改善ももちろん良いですが、小学生以外の子供達は？と単純に思います。中高生や乳幼児の対策は移動児童館ですか？それは手薄過ぎると感じました。</p> <p>この東寺方複合施設が大規模改修でリニューアルされた際には、子供達が気軽に自由にいつでも行き、安心して過ごせる場所となるような施設であることを前提に、多世代の地域の人々の交流の場となることを望んでいます。児童館もしくは子供達専属の職員さんが常駐している施設になってほしいです。できれば、施設内のお部屋配置などを変えて、中高生の部屋もつくり、東寺方児童館としての機能を残して頂きたいです。</p> <p>一ノ宮児童館も行ったことがあります、駅周辺の子供達で利用者数が多く活気がありますが、狭いし古いし人口密度が高過ぎて居心地悪く、乳幼児連れでしたが行くのをやめてしまいました。落ち着いている東寺方児童館の方が好きです。</p>	<p>児童館や放課後子ども教室の意義を理解いただき、ありがとうございます。</p> <p>児童館の場所が変わつても、更新する東寺方の施設内には子どもの居場所は作る考えです。小学校内の放課後子ども教室を充実させるなど、子どもが気軽に遊びに行き、安心して過ごせる場所を充実させていきたいと考えています。</p> <p>乳幼児親子のためのひろば施設は、地域の保育施設で担えないか、検討しています。中高生に対しては、中高生専門館など、多少遠くても通いたくなるような児童館をつくり、居場所としていきたいと考えています。</p> <p>一ノ宮児童館に対してご指摘いただいている施設の狭さや老朽化についても、この方針に沿って児童館施設を更新していくなかで解消ていき、「基幹となる児童館」として選ばれる児童館になるようにしていきたいと考えています。</p>
16	<p>子どもがいなくなるから、東寺方児童館はなくしちゃダメ 豊ヶ丘児童館も引っ越ししないでほしい</p>	<p>東寺方児童館のあった場所には、子どもたちが遊べる場所は残そうと思っています。その他にも、小学校内で放課後子ども教室を行って、授業が終わった後も学校で遊べるようにするなど、みんなが遊べる場所を増やしていきたいと考えています。</p> <p>豊ヶ丘児童館については、地域の子どもたちみんなが通いやすい場所を考えると、現在の豊ヶ丘複合施設から貰取学童クラブの場所へ引っ越しするのが良いと考えています。</p>

No.	意見	市の考え方
17	<p>児童館は普通の児童館がなるべく密にある方が良い。杉並区は小学校区に一つ児童館を整備する方針を決めた。子育てしやすい町というなら子どもの行動範囲である小学校区にきちんと整備してほしい。東寺方児童館に行っていた子が桜ヶ丘や愛宕の児童館に行くのは高低差もあって無理がある。特にプレママの経験から、坂の上り下りがあるのは障壁となり、未就学児へのサービスが後退するのではないかと思っている。</p> <p>新しく特色ある児童館としてアウトドア特化館を作るというが、東寺方児童館を減らして作るのは反対である。アウトドアが好きではない子にとっては代替にならない。いまの児童館では外遊びも室内遊びもできるので、それで良い。もし本当にアウトドアをとうなら、例えば大谷戸公園で子供向けとアウトドアができる設備を整備して、児童館の企画として遠足したらどうか。</p> <p>素案に児童館に特色がないことが問題点として上げているが、認識が間違っている。学校の授業は学校ごとに異なる必要はない、同じ教育が行われている。児童館も同じで子どもに必要なケアやサービスは同じで、児童館はそれを提供することが求められている。その上で子どもや地域性によって自ずと特色が出てくる。東寺方児童館では芋掘りがコミュニティ紙を取り上げられたのは、東寺方の周辺に烟があるからだし、豊ヶ丘児童館では月1回伝統芸能を体験できるのは、上で行われている地域の市民の活動があるからで、特色というならこれこそ特色だと思う。市の方がそれを特色だと認識できていないだけではないか。</p> <p>ま素案で中高生向けの児童館を整備するというが、こちらも1館では不足。新たに市内中の中高生を集める1館を作るのはなく、今ある児童館に職員を増やし開館時間も遅くまで開けて中高生が集まる児童館に整備したら良い。唐木田児童館では、一定中高生の居場所となっている成果があるので、他の既存の児童館でも参考にしたら良いと思う。</p> <p>豊ヶ丘児童館に関しては、貝取学童に移動しても、豊ヶ丘児童館は残してほしい。豊ヶ丘児童館は面積は面積を減らしたとしてもオープンスペースなどにするのではなく専門の職員を常駐させ児童館としての機能を残してほしい。貝取児童館と豊ヶ丘児童館、小学校区として考えるなら、2つあるべきだと思う。</p> <p>また提案の出し方について、タイトルに「あり方」とあって児童館削減と取る人はいない。きちんと議論をしたいなら誠実に何について市として提起するのか分かるようにすべき。初タイトルをつけるなど。また東寺方児童館「削減」なのに「統合」というのも同様で、事実に基づいた説明、言葉遣いをしてほしい。でないと市の信頼性を損なうことになる。建設的な議論のために、市には言葉遊びで煙に巻くようなことはしないで、市民と誠実に対話してもらいたい</p>	<p>素案を決定するまでの間、方針の内容をゼロベースから議論してきました。その過程では、現在ある10館の全児童館を存続させていくことや、通いややすい場所に児童館の無い地域へも設置していく案も検討しました。しかし年少人口が減じ、児童館全体の利用者数もこれまでの人数を維持していくことが見込まれない中、限られた人的・物的資源を生かしながら、児童館が地域に存在しているというだけでなく、行きたいと魅力ある運営していくためには、素案にあるような児童館に再構築していくことが必要だという考えに至りました。</p> <p>児童館の場所が変わっても、更新する東寺方の施設内には、子どもの居場所は作る考えです。小学校内での放課後子ども教室を充実させるなど、近隣施設との連携を含め、乳幼児親子や子どもが気軽に通える居場所を充実させていきたいと考えています。</p> <p>アウトドア特化館でもある児童センターの場所として愛宕児童館を選んだのは、子どもにとって自由に遊べる育成環境を実現できる立地であるかで判断しました。住宅の多い地域でアクセスが良いという利点があっても、このような育成環境が実現しない立地では難しいと考えた上での提案となっています。</p> <p>児童館の特色については、ご指摘のような地域性も、求められる特色のひとつと捉えています。これまで各地域の児童館で培ってきた特色も、再構築する児童館で生かしていきたいと考えています。</p> <p>中高生向けの児童館については、現在でも唐木田児童館のほかに一ノ宮児童館、永山児童館も中高生重点対応館として、他の児童館と異なる開館時間や事業を設けています。これらの中高生重点館は、「基幹となる児童館」と位置付けていますが、中高生専門館と併せて、中高生も利用したくなるような児童館にしていきたいと考えています。</p>
18	<p>少子化や担当職員の人員不足、児童館の老朽化に伴う統合については理解できますが、共働き世帯が多い中で地域ボランティアを頼りとする放課後子ども教室を児童館の役割の代替として主軸にすれば、いずれ運営がままならない状態になるのではないかと危惧しています。</p> <p>地域参画は大事なことだと捉えていますが、市運営主体の児童が安心して集える場所の構築をお願いできればと思います。</p>	<p>本方針の趣旨にご理解いただき、ありがとうございます。</p> <p>放課後子ども教室については、これまで地域ボランティアにより運営していましたが、今後、社会福祉法人の協力を得て、委託による週5日実施へ移行し、安定した運営体制を作っていきます。</p>
19	<p>*「児童館は、18歳以下のすべての子どもと保護者に開かれた、多摩市の未来を育む館です。」の方針は、その通りだと思います。「中高生専門館」を設けることも大賛成です。今までの児童館は幼児～小学生が集まるところのイメージで、中高生の居場所はなかったので、中高生が集い、いろいろな活動や経験を通して新たな視野を広げていけるような場(学校とは別)のは大事です。</p> <p>* 共働き家庭が増え、少子化もあり、乳幼児を育てているお母さんが同じようなお母さんと出会う機会は減っています。育児のちょっとしたことや不安などを話せる場所として、乳幼児の部屋は大切です。唐木田児童館の職員から話を聞く機会があった時に、乳児コーナーは赤ちゃんを安心して遊ばせられるし、お母さん同士が育児のことなどを気軽に話せるので、口コミで利用者が増えているとのこと。子どもの数は減っていても大事な場所ですので充実させてください。</p>	<p>中高生専門館の趣旨をご理解いただき、ありがとうございます。</p> <p>また、児童館内の子育てひろばの意義もご理解いただいているところかと思います。これまででは、児童館も地域子育て支援拠点と位置づけて乳幼児親子のための場も充実させました。しかし、様々な年齢層の利用者が利用することにより、施設によっては児童館本来の役割である子どもの健全育成の場に制約を及ぼしていることも事実です。今後、乳幼児親子の居場所を保育施設等でも担うとともに、児童館は子どもの健全育成という役割に重点を置いていくことをご理解ください。</p>
20	<p>東寺方の児童館には、小学生の子どもがお世話になっています。また、私も子供の頃よく遊びに行き、親子二代で利用させていただいています。</p> <p>この度、愛宕児童館と統合され、移動児童館になる方針が提案されているようですが、「移動」では子どもの居場所にはならないとおもいます。また、愛宕は遠くてとても利用しにくいのではないかと思います。</p> <p>少子化対策が叫ばれているなか、児童館を削減するという多摩市の方針は理解できません。</p>	<p>親子二代にわたって東寺方児童館をご利用いただき、ありがとうございます。</p> <p>児童館の場所が変わっても、更新する東寺方の施設内には子どもの居場所は作る考えです。小学校内での放課後子ども教室を充実させるなど、子どもが気軽に通える居場所を充実させていきたいと考えています。</p> <p>多摩市でも例外なく少子化が進み、その対策が求められる中で、子育てしやすい多摩市と評価されるためには児童館はどうあるべきか、魅力ある児童館として存在し続けることを様々な観点から議論・検討した上での方針であることをご理解いただければと思います。</p>

No.	意見	市の考え方
21	<p>1. 子供化対策が国全体で進めていくうという時代に、児童館削減の方針は時代錯誤ではないでしょうか。今日、杉並区の担当者に電話で聞いてみたら、小学校に設置する放課後子ども教室などの対策はもちろん、児童館を7館新設する そうです。</p> <p>2. 「基本方針」の19ページ「(1)安心できる居場所の提供」とありますが、「移動」児童館では「居場所」になりません。しかも、住宅が続々と誕生し、人口が増加している東寺方地区からわざわざ遠くの愛宕まで行かなくてはならないなんて、利用者のことを考えて計画を立てているのでしょうか。</p> <p>17ページの地図を見ると、愛宕は位置としても市のはずれにあり基幹としてふさわしい場所でしょうか。</p> <p>3. 「基本方針」の10ページ「2~3多摩市児童館の課題①多摩市児童館各館の特色がなくなりました。」とありますが、無理に特色をつける必要はないと思います。「基幹となる児童館」「アウトドアに特化」よりも、近くの利用しやすいごくありふれた児童館が必要なのではないでしょうか。</p> <p>4. 「豊ヶ丘複合施設の存続を求める陳情」が市議会で採択されたことを考慮して「基本方針」が策定されたのでしょうか。2016年11月に「施設廃止方針を見直し市民と対話していくことになって豊ヶ丘と東寺方で対話を始まりましたが、それぞれの地域住民との対話内容が異なるのに、二つの施設に対する市の方針がほぼ同じです。地域住民との対話を重視して方針を決定したのでしょうか。例えば、豊ヶ丘の児童館については2023年オーブンハウスに</p> <p>きちんと記載されているのに、どうして2024年6月に廃止の方針が出てくるのでしょうか。「対話」に参加していない部署から突然の廃止方針は、対話の進め方としてルール違反だと思います。自治基本条例に照らしても問題ではないでしょうか。</p> <p>5. □□で初めて市の原案が提案されたのですから、ここから「対話」が始まるのではないかでしょうか。拙速に決定しないで、充分に時間を取って「対話」をして決めていくことを要望します。</p>	<p>この素案を検討する過程では、児童館の施設数を増やす案も上がりましたが、児童人口も減少し、人的・物的資源が限られる中で魅力ある児童館のあり方を検討した結果、素案にあるような児童館配置に再構築していくことが必要だという考えに至りました。</p> <p>児童館の場所が変わっても、更新する東寺方の施設内には子どもの居場所は作る考えです。小学校内での放課後子ども教室を充実させるなど、子どもが気軽に遊びに行ける場所を充実させていきたいと考えています。</p> <p>アウトドア特化館でもある児童センターの場所として愛宕児童館を選んだのは、子どもにとって自由に遊べる育成環境が実現できる立地であるかで判断しました。住宅の多い地域でアクセスが良いという利点があつても、このような育成環境が実現しない立地では難しいと考えた上での提案となっています。</p> <p>地域への説明は、素案の公表後、6月より地域の方と意見交換を始め、7月の公共施設のあり方意見交換会、エリア内の小学校保護者や地区委員会、地域住民への説明や意見交換会を約20回繰り返しています。また、児童館を利用する子どもたちからの意見も聞き取ってきました。今後も11月30日に東寺方小学校保護者を対象とした意見交換会を予定しており、方針の決定は、これらいただいた意見を踏まえて検討の後を予定しています。</p> <p>なお、豊ヶ丘児童館については、エリア内で児童館に通える児童の居住地が偏在しないことを考慮した結果、現在の豊ヶ丘複合施設内から貯取学童クラブの場所へ移す計画としており、「地域の児童館」として存続する方針です。</p>
22	<p>愛宕児童館にアウトドアに特化した児童センターを作るということですが、本当に「アウトドアに特化」した施設が求められているのが疑問です。どのような調査をされたのでしょうか？もちろん、調査において素案に書かれているようなことを肯定・歓迎するような意見があったとは思いますが、自分に都合の良い設問・聞き方・答えの選択をしてはいかなかったのでしょうか？</p> <p>東寺方児童館と愛宕児童館を統合して愛宕に児童センターを作るということですが、現在東寺方児童館を利用している児童、東寺方児童館が存在すれば東寺方児童館を利用するであろう将来の児童は少し遠くなる愛宕児童センターまで通うことになりますが、その辺の調査はきちんとされたのでしょうか？ そのことを心配している声を聞きます。</p> <p>基本方針自体はよく書かれていると思います。ただ、各論というか、地域ごとの説明がきちんとされるかどうか非常に心配です。10年前の行動プログラムも総論はもともなことが書かっていました。各論はひどい部分が多くたと思います。</p> <p>この基本方針をどうしても11月14日に府内決定したいのですが、あと10日以内に「決定」するというのは無理があると思います。同様な意見が市議会議員、市民から複数あがってきていることも考えてください。また児童館のある東寺方複合館での話し合いも再開したばかりです。あまりにも拙速です。</p>	<p>アウトドア特化館についてですが、様々な遊びの経験を通じて子どもの健全育成を図っていくという児童館本来の役割に立ち返って、求められる児童館の姿を具体的に検討してきました。その中で学校や自宅などの場ではできない遊び、児童館という施設ならではできる遊びとしてアウトドア体験が挙がってきたこと、そして施設が広大で、隣接して住宅も少ない愛宕児童館の立地条件で、そのような遊びの提供が可能であることに着目し、アウトドア特化館の考案に至りました。</p> <p>東寺方児童館を利用している子どもの居場所についてですが、児童館の場所が変わっても、更新する東寺方の施設内には子どもの居場所は作る考えです。小学校内での放課後子ども教室を充実させるなど、子どもが気軽に遊びに行ける場所を充実させていきたいと考えています。そして愛宕の児童センターは、子どもが自力での行動範囲が広がる年齢になったとき、多少遠くても行ってみたいと思うような魅力を持たせたいと考えています。</p> <p>地域への説明は、素案の公表後、7月の公共施設のあり方意見交換会を皮切りに11月30日まで、エリア内の小学校保護者や地区委員会、地域住民への説明や意見交換会を繰り返しています。また、児童館を利用する子どもたちからの意見も聞き取ってきました。方針の決定は、これらいただいた意見を踏まえて検討の後を予定しています。</p>
23	<p>児童館で20年以上ボランティアをしています。赤ちゃん、幼児の時間や秋まつり、図書館でお話し会をしています。老人福祉館との交流もあり、小学生も中学生もみんなが立ち寄りやすい場所にあり交流の場になっています。家も増え人も増えているのでこの環境を是非残してください。素晴らしいモデルとなる施設だと思います。愛宕は自然があり広い場所があると言つても人が行きにくい所は毎日行くところにはならないと思います。またかるがも館にあつた子育て広場も職員に説明がなく閉鎖されて、保育園内に同じような施設を作るそうですが、東寺方児童館も同じようになると気軽に地域の仲間といつでも足を運べる場所が無くなるように思います。</p>	<p>長年、ボランティアとして児童館運営に携わっていただき、ありがとうございます。20年前のデータでは無いのですが、14年前の平成22年度東寺方児童館の年間利用者は延べ21,523人でした。そこから少しずつ減少し令和5年では延べ14,834人というように利用する子どもの数も、需要も時代とともに変化していることも考慮しています。私たちは施設の見直しの機会を捉えて、ただ残していくだけではなく、これから20年、30年先の変化にも対応できる施設や運営のあり方を考え方針案を作成しました。</p> <p>また東寺方地区複合施設が、東寺方児童館があったときと同じように、子どもや地域の方が気軽に通える居場所になるためにはどうしていくべきか、今後の意見交換を含め、地域の利用者、保護者の方の話を聞きながら検討していきたいと考えています。</p>
24	<p>東寺方複合施設の計画案について意見募集を行っているとのことで意見します。</p> <p>まず、このホームページのどこから意見を言えばよいか、案内がどこにもなくたいへんでした。説明会より1ヶ月しかたない状態で決定するのはあまりに乱暴です。影響の大きさに比べて拙速です。決定はすべきではありません。市側はいろいろ説明していますが、結局お金を減らすためだということを隠しています。お金を減らす対象を子供の健全育成の分野を対象にしているのです。ここを対象にすべきではありません。子供が少子化で減ったとしても虐待、非行、自殺、不登校の問題は増えています。児童館は学校や家族以外の第3者として有効に機能できる場所です。この分野の専門の職員と子供と接する場所は減らすべきではありません。健全な子供は健全な社会の未来をつくってくれます。お金のために自分たちの首を自分たちで絞めることにはることはやめたほうが良いです。</p>	<p>本パブリックコメントの回答方法がわかりにくかったことについて、お詫び申し上げます。</p> <p>地域への説明は、素案の公表後、7月の公共施設のあり方意見交換会を皮切りに11月30日まで、エリア内の小学校保護者や地区委員会、地域住民への説明や意見交換会を繰り返しています。また、児童館を利用する子どもたちからの意見も聞き取ってきました。方針の決定は、これらいただいた意見を踏まえて検討の後を予定しています。</p> <p>この方針は、児童人口が減じ、児童館全体の利用者数もこれまでの人数を維持していくことが見込まれない中、限られた人的・物的資源を活かしながら、児童館が地域に存在しているというだけでなく、行きたいと魅力のある運営していくためにはどうあるべきかという観点で検討しました。市では子育て支援は重要施策と捉えており、市全体の厳しい財政状況の中でも様々な取り組みに対して必要な予算を投じています。児童館事業に対しても、日常の施設管理・運営に必要な経費のほかに、魅力ある児童館作りのために、現在でも様々な取り組みを考案し、予算化を目指していることをご理解いただければと思います。</p>

No.	意見	市の考え方
25	<p>私事ですが4児の父です。 第一子より第4子まで5年以上、愛宕児童館に定期的に通わせて頂きました。</p> <p>同児童館の利点は下記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日利用ー放課後の子供の交友先として優秀 —職員さんの管理下であり、セキュリティ面で安心できる。</li> <li>・土曜利用ー平日利用と同じくセキュリティ面で強みがある上に保護者有事の際の一時利用の側面も強い</li> <li>・他ー同児童館は山の上に位置していることもあり子供の運動不足解消に非常に有益 —立地場所周辺の交通量が少ないので突発的な交通事故のリスクが少ない</li> </ul> <p>期待する将来像ー広い土地、山ぞいの土地を利用した「運動不足解消」に重点を置いた施設更新が望ましい。</p>	<p>これまで愛宕児童館をご利用いただき、ありがとうございます。 また、愛宕児童館の特長をご理解いただいた上でのご提案に感謝します。 いただいたご提案は、愛宕児童館を改修する児童センターの施設内容を検討していく中で参考にさせていただきし、魅力的な児童センターの実現を目指したいと考えています。</p>
26	<p>子どもたちと保護者の方が安心して過ごせる場所。児童館が自分の“居場所”になるといいなと思います。</p> <p>具体的には、①子どもたちが安全に遊べる環境。(アスレチック・体育館など) ②クラブ活動やイベント(歌・ダンスなど) ③保護者向けのイベント</p>	<p>児童館に対する期待をお寄せいただき、ありがとうございます。 いただいたご提案は今後、この方針に基づき魅力的な児童館を実現していくための具体的な運営検討の参考にしたいと考えています。</p>
27	<p>各児童館の課題に学区エリアに傾りがある部分で、児童館の移設するべきだと考える。エリア内に対応するには、極端に少ない小学校利用の子どもに行きやすい場所に新たに児童館を設置する方法もあるが、人手の問題もあることから、10館内で行うには、児童館の位置を考え直す必要がある。落合児童館であれば、東落合小に近づいため、東落合小の児童の利用者が少ないとという課題で、東落合小の利用者が増えるには、落合中付近にある落合第二学童クラブを落合児童館とする。落合中の近くにあるからこそ、西落合地域も東落合地域も利用しやすいと考える。ただ、西落合小の利用が極端に減っていく課題はあるが、落合中に通いやすくなるきっかけのひとつとしてはメリットだと見える。</p> <p>人件費等の差しつかえがない限り、全児童館に日曜開館は行っても良いと考える。現在は一ノ宮、永山、唐木田の中高生重点対応館では行っているが、日曜開館があることによって、小学生も日曜日に過ごせる居場所が増えた。現状では、職員の人数的に毎週日曜日の対応が難しいところから、月1か月2程度で行うこともひとつである。もしくは、の平日の1日のどこかを休みにし、日曜開館するというのもある。そこは平日来る児童館の子どもの様子次第で決めて頂くことになる。</p>	<p>児童館の配置については、素案を検討する間、方針の内容をゼロベースから議論してきました。その過程では、現在ある10館の全児童館を存続させていくことや、通いやすい場所に児童館の無い地域へも設置していく案も検討しました。しかし児童人口が減り、児童館全体の利用者数もこれまでの人数を維持していくことが見込まれない中、限られた人的・物的資源を活かしながら、児童館が地域に存在しているというだけでなく、行きたいと魅力のある運営としていくためには、素案にあるような児童館に再構築していく必要だという考えに至りました。</p> <p>児童館の開館時間については、今後、この方針に基づき魅力的な児童館を実現していくための具体的な運営検討の参考にしたいと考えています。</p>
28	<p>じどうかんから、家もちかいいし、おかかるさんは、びょうきて、しごとからかえるのがおもしろい、おとうさんは、8時くらいまで、かえてこないし、ここしか、(個人名)には、いばしょがない。外でもあそべるけど、あめの日は、そとではあそべない。あと、がつこうから、すぐに、あそびにこれるから、なくなんないでほしいなー。べつに人はいるよ? ともだちもよくくるし、たっきゅうでもあそべるし、ぴアノをそれにおがみ、カーデゲーム、ぬりえ、おもちゃ、なわとび、すなあそびバトミントン、アクティブルームもあるし、ちっちゃいこゆうのそういうへやもあるから、あと、なつまつり? あきまつり? とか、そういうぎょうじもたのしいし、じやんじやんも、まあおもしろいし、とにかくたのしい。(個人名)、ともだちのおかあさんからきいたとき、え?ってなった。ほんとうに、ここがなくなるのがやだった。土ようびもあいてるし、日ようびとか何の日とかあいていないのはやだけど、いまきづきました。手がふるえています。しようじきこわいです。あつ、(個人名)のすきなもの? 那は……マンガです! 那はいろいろあります。れんあいとか、でも一番すきなのが、ドラゴンボールです。あとすきなへやは、いまかいているとこなんですか? としょこーなーです。(個人名)さいぐらいからいます。ここは、いいとこです。</p>	<p>いつも児童館を利用していただき、ありがとうございます。また児童館を「いいところ」「おもしろいし、とにかくたのしい」とほめてくれてうれしいと思っています。</p> <p>「児童館のこんごのあり方きほんほうしん(あん)」のことを聞いて不安をかんじさせてしまったこと、ごめんなさい。きちんと児童館の職員から、次に来てくれた時に、お話しできると良いと思っています。</p> <p>児童館では無くなつたとしても、今の場所には、これまで児童館があつたときと同じようにすごしてもらえるようないばしょを、地域の人たちと話し合ってつくっていきたいと思っています。</p> <p>よかつたら、お休みの日には、ほかの児童館にもあそびにきてください。</p>
29	<p>[東寺方複合施設]への意見です……私の認識不足の件があるかも知れませんが。 ◎図書館が残ることには安堵しています。</p> <p>A. 児童館について B. 福祉館について</p> <p>[1]AもBも、結論から言いますと、今の場所での存続に賛成です。</p> <p>①交通の便がよい②バス停が近③体育館も近い④東寺方小学校も第二小学校も等しい位の距離⑤公園もある⑥近くに消防署もある、こんな利便性の良い所は、大切にしたいです。</p> <p>[2]利用者数①今、利用者数が少ないからと言って統合するのではなく、先を見て欲しいです。②現在、東寺方、和田地区では、新築の戸建があちこちで建設されています。入居すれば間違ひなく人口増がやってきます。その時になって慌てても遅いのです。</p> <p>[3]①建物を壊すにしても費用がかかります。今の建物の不備な所を改修して大事に使った方が経済的なのではないでしょうか。②物を大切にするという子供の教育にもなりませんか。</p> <p>[4]3階の福祉館について、①約60才以上の方々が、各々の趣味を生かして通っています。行く所があるということは、生活意欲も湧き、健康につながります。②結果的には医療費の削減に繋がってきます。③身近な地域にあるからこそ、通えるのです。</p> <p>どうぞ御一考をお願い致します。</p>	<p>[1]東寺方地区複合施設の今後については、その立地も生かしながら、東寺方児童館があつたときと同じように子どもや地域の方が気軽に通える居場所になるためにはどうしていくべきか、今後の意見交換を含め、地域の利用者、保護者の方の話を聞きながら検討していきたいと考えています。</p> <p>[2]東寺方児童館のある地域である桜ヶ丘四丁目、和田、東寺方(一丁目を除く)の年少人口(18歳未満の人口)は、平成30年4月1日に2,343人でしたが、令和6年4月1日では2,064人と、わずか7年の間で、279人も減少しているのが事実です。市内の一部の地域では限定的な人口増加は見られるものの、市内全体では少子化が進行しています。そのような実態を踏まえて、またその中で子育てしやすい多摩市と評価されるためには児童館はどうあるべきか、様々な観点から議論・検討した上での方針であることをご理解いただければと思います。</p> <p>[3]「物を大切にする」といったことは重要な視点だと思います。ご意見ありがとうございます。東寺方複合施設については、現在、施設を建て替えるか、大規模改修をするか検討をしています。施設のあり方等については、地域の皆様との対話を重ね、より良い施設にしていきたいと考えております。来年度から東寺方地域のみなさまとの対話を本格的に再開する考えでいます。その際は、ぜひご参加いただき、ご意見賜ればと思います。</p> <p>[4]老人福祉館に関しては、本パブリックコメントと同時期に行いました「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針(素案)」パブリックコメントの回答内にてお答えします。</p>
30	<p>この地に引っ越して来て不安の一つは、子供達がこの地になじめるかということでした。</p> <p>近くにある、児童館、図書館を利用し子供の友達が出来ました。</p> <p>次々ママ友も出来、本当にうれしかったです。</p> <p>今この地域はどんどん新築の家ができています。</p> <p>子供も増えています。きっと皆さんも同じ不安を持っていると思います</p> <p>児童館を増え充実させていってほしいと思います。子供が小さい時は、近くにあるというのがとても良いことだと思います。</p>	<p>児童館を通じて、親子とも地域になじめていくことを嬉しく思います。一部の地域での限定的な人口増加は見られるものの、市内全体では少子化が進行しています。そのような実態を踏まえて、またその中で子育てしやすい多摩市と評価されるためには児童館はどうあるべきか、魅力ある児童館として存在し続けることを様々な観点から議論・検討した上での方針であることをご理解いただければと思います。</p>

No.	意見	市の考え方
31	<p>東寺方老人福祉館には図書館で利用させて頂いていました。それは体育館へ通っているので帰りに寄る感じです。</p> <p>しかし最近他の施設でやっていた体操が出来なくなり、月1でこちらにお世話をしています。</p> <p>また、友人の誘いでこちらの教室にも通い始め、立地や駐車場もあり、利用させて頂いています。</p> <p>タウンニュースで老朽化で立て替えが検討されている事を知りました。ますどうしても不具合があるなら耐震補強の方向でお考え頂きたくお願い致します</p>	<p>いつも施設をご利用いただきありがとうございます。</p> <p>本施設については、建築後43年が経過しており、空調や給排水等、設備等の老朽化が進んでいるため、安全に使い続けるには大規模改修が必要な状況です。また、平成22年度に実施した耐震診断の結果、市が目標としている基準に満たない部分があるため、今後の大規模改修の際には耐震補強も必要な状況です。</p> <p>来年度にかけて、地域の皆様と今後の施設に必要な機能やあり方について意見を交換し、耐震補強とともに大規模改修を行うか、建て替えるかの方針を定めていくためのワークショップや意見交換会などを開催する予定ですので、是非ご参加いただき、ご意見をお寄せいただけますと幸いです。</p>
32	<p>1 児童館</p> <p>児童、乳幼児の育成に大変有益に機能しており、また相続の関係で多くの個別住宅が計画され、さらに多くの需要が見込まれます。子育てに力を入れている行政は活性化していく、近隣からの移住者も増えるというデータもあります。先を見えて、どこにもひけをとらない児童館を造るという理念の実践が「子は地域の宝」の証左になると思います。</p> <p>2 図書館</p> <p>子ども達は本を読まなくなっています。多摩大学の教授から「文章が書けない大学生が増加している」との声も聞きます。一方多摩センターには新図書館が出来100万人を超えてます。見近かな地域の中に充実した図書館が是非とも必要です。地域の文化程度、教養の深さのパロメーターは図書館の貸出本数にもよるものだと思います。学力向上、教養深耕、常識力には読書が肝要です。現在の水準を維持した図書館を存続して頂きたいです。</p> <p>3 老人福祉館、市民ホールを廃止しコミュニティ会館に変更との案を聞いていますが、現在の文化的会合、楽しみ会、具体的に●●、カラオケ、詩吟、コーラスなどが存続して、無料で利用できるようにして欲しいです。これらの活動は、近隣同士の情報交換の場所にもなっていて、地域の絆づくりや健康長寿に大いに役立っていることのメリットをご理解ください。老人福祉館での入浴サービスは、設立時の入浴事状も大きく変化していますので費用対効果で不要と思います。</p>	<p>東寺方児童館のある地域である桜ヶ丘四丁目、和田、東寺方(一丁目を除く)の年少人口(18歳未満の人口)は、平成30年4月1日に2,343人でしたが、令和6年4月1日では2,064人と、わずか7年の間で、279人も減少しているのが事実です。市内の一部地域での限定的な人口増加は見られるものの、市内全体では少子化が進行しています。そのような実態を踏まえて、またその中で子育てしやすい多摩市と評価されるためには児童館はどうあるべきか、様々な観点から議論・検討した上での方針であることをご理解いただければと思います。</p> <p>コミュニティ施設に関しては、本パブリックコメントと同時期に行いました「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針(素案)」パブリックコメントの回答内にてお答えします。</p>
33	<p>・老人福祉会館 市民ホール</p> <p>現在、オカリナ・合唱等々使用されている方々には立地条件が良く利用して居ります。是非今後も同じ基準で利用が出来るよう希望致します。</p> <p>・図書館</p> <p>近くに図書館があることは、文化都市として大変大事なことです。子供達や幼児の育成のために現状の図書館レベルを維持を強く希望致します。</p> <p>・児童館</p> <p>元気に子供達が児童館で遊んでいるのは地域の者として子供達とのあいさつも出来、元気をもらえます。移動児童館ではない現状のレベルの児童館を希望します。今後益々建売の住宅が増える現実、子供が増える可能性が多いと思います。働くお母さん達の為にも考えて頂くことを希望致します。</p>	<p>東寺方児童館のある地域である桜ヶ丘四丁目、和田、東寺方(一丁目を除く)の年少人口(18歳未満の人口)は、平成30年4月1日に2,343人でしたが、令和6年4月1日では2,064人と、わずか7年の間で、279人も減少しているのが事実です。市内の一部地域での限定的な人口増加は見られるものの、市内全体では少子化が進行しています。そのような実態を踏まえて、またその中で子育てしやすい多摩市と評価されるためには児童館はどうあるべきか、様々な観点から議論・検討した上での方針であることをご理解いただければと思います。</p> <p>老人福祉館、地区市民ホールに関しては、本パブリックコメントと同時期に行いました「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針(素案)」パブリックコメントの回答内にてお答えします。</p>
34	<p>1 東寺方複合施設(建物)について</p> <p>この施設は昭和55年に竣工し、昭和56年から運用開始となっている。新耐震基準の昭和56年以前の建物であり、耐震化、老朽化を考えると、自治会館等を含めて合築での建て替えを希望する。</p> <p>2 老人福祉館、市民ホールについて</p> <p>①市の提案する全世代が利用できるコミュニティ開館を了承。</p> <p>②しかし、高齢化率の増加化や今後とも元気老人を増していくために、高齢者の利用できる施設も残してほしい。</p> <p>③施設の運営方法は、委託方式の貸館ではなく、現館長が色々な事業を展開し充実しているのではなく直営方式を希望</p> <p>④地元の地域包括支援センターの新たな設置など相談機能を充実してほしい。</p> <p>3 東寺方児童館について</p> <p>①少子化の中で、東寺方地区周辺は、今後、建売住宅など住宅建設が増加し、未就学児、小学生などが増えていく地域である</p> <p>②あたご児童館に統廃合されると東寺方児童館に来る子どもの居場所が失われてしまいます。</p> <p>③東寺方児童館をあたご児童館の分館と位置づけ、規模や会館日数を縮小して施設を存続してほしい。</p>	<p>①東寺方児童館のある地域である桜ヶ丘四丁目、和田、東寺方(一丁目を除く)の年少人口(18歳未満の人口)は、平成30年4月1日に2,343人でしたが、令和6年4月1日では2,064人と、わずか7年の間で、279人も減少しているのが事実です。市内の一部地域での限定的な人口増加は見られるものの、市内全体では少子化が進行しています。そのような実態を踏まえて、またその中で子育てしやすい多摩市と評価されるためには児童館はどうあるべきか、様々な観点から議論・検討した上での方針であることをご理解いただければと思います。</p> <p>なお、児童館の場所が変わっても、更新する東寺方の施設内には子どもの居場所は作る考えです。小学校内での放課後子ども教室を充実させたりするなど、子どもが気軽に通える場所を確保させていきたいと考えています。</p> <p>老人福祉館、地区市民ホールに関しては、本パブリックコメントと同時期に行いました「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針(素案)」パブリックコメントの回答内にてお答えします。</p>
35	<p>1 図書館</p> <p>市民が読書をしたいと思う時、興味ある分野の本多数を借りたいと思った際、近隣に図書館があることの重要さを感じております。高齢者、子育て世代で共働きのご家族等遠方に図書館がありますと足が遠のいてしまうことがあります。老若男女皆がより多くの素晴らしい本に触れる機会を奪わないで頂きたいです。</p> <p>2 児童館</p> <p>少子化が進む中、子供が安心して遊べる場所が減らされてしまうことを大変残念に思います。子供達が元気一杯笑顔で地域の施設で遊ぶ光景はずつと残ってほしいです。児童館で学校以外のお子さん達とも出会いコミュニケーションを取ることで社会性も身に付き、公共施設でのマナーを学びよいことがあると思います。</p> <p>3 市民ホール</p> <p>市民の方々が毎回楽しみに交流されている機会が継続できますような存続を切に願います。</p> <p>4 老人福祉館での入浴サービスは使用者数とコストのことを考え不必要であると思います。</p>	<p>2 子どもが、様々な子どもや大人を通じて社会的役割を学んでいくという、児童館の役割にご理解いただき、ありがとうございます。</p> <p>児童館の場所が変わっても、更新する東寺方の施設内には子どもの居場所は作る考えです。小学校内での放課後子ども教室を充実させたりするなど、異年齢の子どもが集い、親や教師とは異なる大人と接することのできる居場所を、子どもが歩いて行ける範囲に作っていきたいと考えています。</p> <p>地区市民ホール、老人福祉館に関しては、本パブリックコメントと同時期に行いました「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針(素案)」パブリックコメントの回答内にてお答えします。</p>

No.	意見	市の考え方
36	<p>1 東寺方複合施設の老人福祉館の廃止に反対です。 高齢者、特に一人暮らしの老人にとっては、風呂が廃止されることは社会との断絶をつけられるも同然です。 バス停からも近く、健康維持に欠かせない風呂は絶対なくさないで下さい。 住民の健康増進をはかることは、自治体の本来の役割です。 自治体の役割を簡単に施棄しないで下さい。</p> <p>2 児童館について 愛宕児童館と東寺方児童館の合併に反対です。 自宅から遠く離れた児童館は、児童館としての役割が果せません。近くにあってこそその児童館です。 住民に対する市の説明が性急すぎます。 住民との話しあいが不充分なままで強引に事をすすめることに納得がいきません。</p>	<p>児童館の場所が変わっても、更新する東寺方の施設内には子どもの居場所は作る考えです。小学校内での放課後子ども教室を充実させたりするなど、異年齢の子どもが集い、親や教師とは異なる大人と接することのできる居場所を、子どもが歩いて行ける範囲に作っていくことにより、これまで児童館が果たしてきた役目を担えると考えています。</p> <p>地域への説明は、素案の公表後、7月の公共施設のあり方意見交換会を皮切りに11月30日まで、エリア内の小学校保護者や地区委員会、地域住民への説明や意見交換会を繰り返しています。また、児童館を利用する子どもたちからの意見も聞き取ってきました。方針の決定は、これらいただいた意見を踏まえて検討の後を予定しています。</p> <p>老人福祉館に関しては、本パブリックコメントと同時期に行いました「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針(素案)」パブリックコメントの回答内にお答えします。</p>